

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第12号 2019.11.10 発行

な・な・なんと、婚活イベントとコラボレーション

梅之木遺跡を舞台にして北杜市もいろいろな企画を催しているようで、前回の通信でもお知らせしたように『クリの植樹と縄文ジビエ体験会』もありますが、以前にも『星を見る会』や『ほらがいを吹く会』といった企画がありました。9日には『縄文婚活』というイベントがあり、たまたま我々の作業日と重なったためイベントに参加した若者達？を急遽受け入れることに。話には聞いていても婚活に参加したことがない我々は、最初どのように対応するか多少戸惑いもありましたが、『将来、我々の年金を担ってもらう人たちになるかも。』という淡い期待もあり、北杜市のイベントをお手伝いさせていただきました。

◆ 北杜市縄文婚活イベント

調べてみると今年の3月にも開催されたイベントのようですが、今回は男性12名女性8名の参加があったようで、黒曜石で鹿肉を調理して縄文料理を食したりする縄文文化体験型の婚活イベントだったようです。婚活ばかりか、縄文文化に興味のある女性が多く参加していることにも驚かされました。



3グループに分かれて、薪割や住居組立作業を体験



垂木尻の埋戻し作業



木舞を二人で協力して垂木に仮止めしてもらいました
おじさんたちは安全確認しながらやさしく？見守り



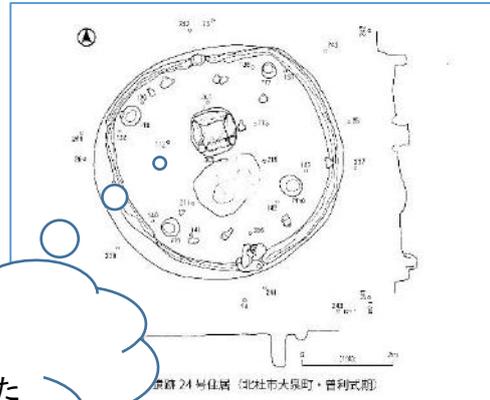
どんな出会いがあったか、、、 その後のゆくえが楽しみです。

◆ 石炉づくり

先週苦勞して運んできた石と以前の縄文住居建設で使われなかった石を合わせて石の炉を造ります。



玄関口から運び入れます



出土した遺跡の炉の
位置にほぼ合わせました



一段と生活感が出ました

◆ 垂木尻合わせ

梁に垂木をほぼ結びつけたところ、裾野が広くなりすぎ盛り土が大量に必要となる問題が発覚。 梁を下げるか、垂木の傾斜角を大きくするか検討の結果、傾斜角を35°から40°にして対応することに。



目標傾斜角40°

旧傾斜角35°の垂木

掘り下げて垂木尻を埋め、傾斜角を出します



全体の掘り下げが終了したところで
佐野さんに確認していただき
埋戻しは若者たちの婚活共同作業で